

## 建築分野で建築意匠設計をめざす

想定される具体的な進路・職種

建築意匠設計

総合的な知識、視野が必要とされる建築学において、その基本的な能力を学部において身に付けたという前提のうえで、建築学の各分野に特化した能力を身に付けるというのが大学院の意義です。ここでは、建築意匠設計をめざすための専門科目である建築・地域デザイン特論、建築計画特論、建築スペースデザイン特論、建築技術史特論、建築歴史意匠特論などを履修することで、建築意匠設計に特化した知識や方法を身に付けることができる履修モデルを設定して

● 選択科目 ● 選択必修科目 ● 必修科目

専修分野	授業科目
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建築・地域デザイン特論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● 建築技術史特論</li> <li>● 建築計画特論</li> <li>● 建築スペースデザイン特論</li> <li>● 建築歴史意匠特論</li> <li>● 建築空間特論</li> <li>● 生活空間計画特論</li> <li>● 建築スペースデザイン総合設計演習ⅠAⅠB・ⅡAⅡB</li> </ul>
関連科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建築設計特論</li> <li>● 建築実践特論</li> <li>● 学外特別演習</li> <li>● アドバンスト・インターンシップ</li> <li>● 科学技術英語</li> <li>● 特別講義Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● 実践インターンシップA・B・C</li> </ul>

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※記載された科目のみでは修了要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

## 建築分野で構造設計エンジニアをめざす

想定される具体的な進路・職種	構造設計建築士
----------------	---------

総合的な知識、視野が必要とされる建築学において、その基本的な能力を学部において身に付けたという前提のうえで、建築学の各分野に特化した能力を身に付けるというのが大学院の意義です。ここでは、構造設計エンジニアをめざすための専門科目である建築構造デザイン特論、建築構造工学特論、建築構造解析特論、建築応用力学特論などを履修することで、構造設計エンジニアに特化した知識や方法を身に付けることができる履修モデルを設定しています。

● 選択科目   ● 選択必修科目   ● 必修科目

専修分野	授業科目
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建築構造デザイン特論 I・II</li> <li>● 建築構造工学特論 I・II</li> <li>● 建築構造解析特論 I・II</li> <li>● 建築応用力学特論 I・II</li> <li>● 建築構造工学特別演習・実験 IA IB・IIA IIB</li> </ul>
関連科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄骨構造学特論</li> <li>● 建築実践特論</li> <li>● 学外特別演習</li> <li>● アドバンスト・インターンシップ</li> <li>● 科学技術英語</li> <li>● 特別講義 I・II</li> <li>● 実践インターンシップA・B・C</li> </ul>

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※記載された科目のみでは修了要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

## 建築分野で環境設計エンジニアをめざす

想定される具体的な進路・職種	設備設計建築士
----------------	---------

総合的な知識、視野が必要とされる建築学において、その基本的な能力を学部において身に付けたという前提のうえで、建築学の各分野に特化した能力を身に付けるというのが大学院の意義です。ここでは、環境設計エンジニアをめざすための専門科目である建築環境デザイン特論、建築環境計画特論、建築環境工学特論、建築設備設計特論などを履修することで、環境設計エンジニアに特化した知識や方法を身に付けることができる履修モデルを設定しています。

- 選択科目   ● 選択必修科目   ● 必修科目

専修分野	授業科目
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建築環境デザイン特論</li> <li>● 建築環境計画特論</li> <li>● 建築環境工学特論A・B</li> <li>● 建築環境デザイン特別演習・実験 I A I B・II A II B</li> </ul>
関連科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建築実践特論</li> <li>● 学外特別演習</li> <li>● 建築設備設計特論</li> <li>● アドバンスト・インターンシップ</li> <li>● 科学技術英語</li> <li>● 特別講義 I・II</li> <li>● 実践インターンシップA・B・C</li> </ul>

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※記載された科目のみでは修了要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

## 建築分野で施工管理をめざす

想定される具体的な進路・職種

建築施工管理

総合的な知識、視野が必要とされる建築士において、その基本的な能力を学部において身に付けたという前提のうえで、建築学の各分野に特化した能力を身に付けるというのが大学院の意義です。ここでは、施工管理をめざすための専門科目である建築材料・生産特論、コンクリート工学特論などを履修することで、施工管理に特化した知識や方法を身に付けることができる履修モデルを設定しています。

● 選択科目 ● 選択必修科目 ● 必修

専修分野	授業科目
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 建築材料・生産特論</li><li>● コンクリート工学特論Ⅰ・Ⅱ</li><li>● 建築材料デザイン特別演習・実験ⅠAⅠB・ⅡAⅡB</li></ul>
関連科目	<ul style="list-style-type: none"><li>● 建築実践特論</li><li>● 学外特別演習</li><li>● アドバンスト・インターンシップ</li><li>● 科学技術英語</li><li>● 特別講義Ⅰ・Ⅱ</li><li>● 実践インターンシップA・B・C</li></ul>

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※記載された科目のみでは修了要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。